



R.I. District2610 . ROTARY CLUB OF UOZU

魚津ロータリークラブ 会報誌

2008 - 2009 年度 RI 会長 李 東建 (リ トンカン)
魚津 R.C 会長 大村 雅紹

第 2669 回 例会報告

2009 年 2 月 27 日

ゲスト並びにビジター紹介 ゲスト なし ビジター なし 米山奨学生 なし

誕生祝 なし

会長挨拶 大村会長 皆さんこんにちは、日の経つのは早く 2 月もあと 1 日になり、いつの間に冬が来て、いつの間に春になるのか冬の感じがしない最近の気候です。月曜日に本州で一番早く咲く河津桜を見て一足早く春を感じてきました。川沿いに約 3 km の間に 800 本程の河津桜がありますが今年は温暖化により例年より 10 日程、開花が早かったそうです。昭和 30 年ごろに植えられ 60 年ほど経っており、古いもので樹高 10 m、幹周りが 115 cm あるそうです。隣の稲取でひな人形のつるし飾りをやっています女房と一緒にみしてきました。

今日は、家の畑から「サンシュ」の木を持ってきました。葉っぱが出ない先に花が咲き、「グミ」とよく似た木で秋には実がなります。「サンシュ」の酒も造れるそうです。

ガバナー補佐から一言 根岸ガバナー補佐

前回は話をしましたが、今年の 6 月に 4 回目の国際大会がイギリスのロンドンの北南にあるバーミンガムで行われます。私も過去国際大会を回ってきていますが、この大会はすばらしく運営が上手だった様です。韓国のソウルでやった時は魚津 RC と西 RC 合わせて 70 名位で行きました。まだ回覧されていないかもしれませんが、皆さん、是非、積極的に申し込んでください。カバナー補佐の立場として話をさせて頂きました。また、事務局さん、案内文書が来た時には担当者に速やかに案内をお願いします。次に、GSE、CSA が行われます。研究グループの交換会です。武隈さん、会長、幹事と相談して各クラブにも寄って日程を決めたいと思います。支援要請があったら熱意のあるロータリアンとしての協力をお願いします。最近、魚津の RC は疲弊しております。生意気かと思われるかも知れませんが皆さん目を開いてください。私はこのクラブを愛しています。他のクラブに負けないように、皆さん共々、社会の人に尊敬されるような RC になってほしいです。お願いします。

幹事報告 黒部 RC 後援の依頼です。

ローターアクト 地区年次会の案内：今年 6 月 6・7 日、金沢みやこホテル、
登録料 18000 円、登録参加の方、登録用紙は事務局まで

出席報告 第 2669 回 欠席者：3 名 出席率：91% メイキャブ済：関口さん

第 2667 回 メイキャブ：なし 出席率：88.23% 変わらず

ニコニコボックス なし

委員会報告など なし



ポールハウスフェローの授与式



本日の卓話 有澤 信次君 . . . 【国際協力へのさまざまな関わり】



国際協力には、様々な関り方があるが、ここで紹介する J P R (日本国際救急救助技術支援) は、魚津ロータリークラブとも深い関わりがあり、少なからず国際協力を実施しているということである。

アフリカのザンビアへ支援 J P R は、アフリカのザンビアが最初の支援国となった。ザンビアは内戦が無かったが貧しさはアフリカの他の国と同じである。アフリカは植民地時代から先進国に支援を受け続けている。ザンビアへの支援は、関西空港から 24 時間かけて行くが、16 名の J P R は救急隊員、救助隊員、看護師、医師などから構成される。魚津ロータリークラブから消防車を寄贈したが、写真の向かって右側の消防車である。一部を除きほとん



どが日本の消防本部の協力により寄贈され、NGOなどが輸送したものである。日本政府はODAなどで億単位の大金で支援しているが、市民には見えてこない。しかし、消防車や救急車はサイレンを鳴らし、人を直接助けるため嫌でも目立つ支援となるのである。

インドネシア国南カリマンタン州を支援 この件は1年間4回支援することとなった。南カリマンタン州保健局長などと今後の技術支援の方法などについて協議し、J P R 会長、神戸インドネシア友好協会会長、南カリマンタン州保健局長の3者で技術支援に関する合意書に調印式を実施した。消防車は古いけど立派に放水できます。救急車は病院に所属しており日本のように消防署から出動する態勢ではない。負傷者は軍隊も出動して搬送しますが、衛生兵は病院の救急隊よりも軍隊だけあって統率も取れており、きびきびしている。



カンボジア国への支援 カンボジアはアンコールワットの遺跡でも有名だが、古い国でありポルポト派などで内戦となったため中身は新しい国である。

今回、2009年の2月7日に富山県の魚津ロータリークラブから消防車の寄贈を受けて、2月8日カンボジア支援のための資機材の輸送をし、月中旬にはカンボジアに着く予定です。魚津ロータリークラブから寄贈して頂いた消防団の消防車と、以前から兵庫県下の消防本部から寄贈して頂いていた救急車に資機材を積み込みました。資機材を積んでいる時にいつも思うのは、もう少し良い資機材を送ってあげたいと思う気持ちと、よくもこれ程たくさんの資機材が集まったものだという気持ちです。それと仕事などの都合をつけて集まってくれる J P R の仲間たちは、海外支援とは一味も二味も違う仲間意識です。J P R の基本理念は、一人でも多くの命を救うことであり、J P R として救急救助隊育成に協力することになることをご報告致します。



【以上】